

川で学ぼう

～川とふれあう学習～

「河童伝説」の伝わる町で 川の美しさと自然を学ぶ

黒坂小学校

古くから「河童伝説」が伝わる日野町は、河童を意味する方言の「カワコ」を名前に付けた「カワコふれあい公園」が地域のシンボルとして整備されるなど、地域に住む人たちの「河童」と「川」への愛着がとても強い町です。

この町にある黒坂小学校では今年、「日野川の水はきれいかな？」をテーマにして3・4年生の総合学習を進めています。これまでに日野川の河口から上流までの水質を調べたほか、この夏には川にすむ昆虫調べも行いました。

このときの様子について、担当した末次邦彦先生は「せっかく日野川の近くに住んでいるのに、川には魚しかいないとイメージしている生徒が多かったです。『調べ学習』の時には、川の中に入って石をひっくり返して、石の下にべったりとついてる虫に驚いたり、私のところに岩ごと持ってきて『これは何ですか？』とたずねてきたりと、生徒たちは大はしゃぎでした。中には、やぶの中にゴミがあるのを見て

驚いて、ゴミひろいに没頭していた生徒もありましたよ」と、子どもたちが体験した日野川の自然との出会いの様子を話しています。これらの学習を通じて「日野川の水はきれいだ」と理解した生徒たちからは、「今度は日野川の源流に行ってみたい」という声もあがっているそうです。

のほか同校では、これまでも地元で伝わる河童伝説を「調べ学習」のテーマにして、その成果をミュージカル劇「光明寺のかっぱ」として発表するなど、川や河童にちなんだ地域学習がとても盛んです。

また4年生のときには、同じ日野町内の根雨小学校と合同で「カヌー教室」があります。生徒たちにとっては、日野川の流れを体で感じられる初めてのとき。しかし嫌がる子はほとんど無いそうで、ここからも川に親しんでいる様子が見えがえます。「カヌー教室のときに川で遊んだ経験が懐かしい」という卒業生も多いそうです。



日野町立 黒坂小学校

創立は明治6年で、学制発布とともに上菅学校と黒坂学校として開校し、その後の統合で平成13年に黒坂小学校になりました。現在の児童数は50名(平成17年5月1日現在)。『やさしさ』と『かしこさ』と『たくましさ』を育み、心豊かで生きる力を備えた児童の育成』を教育目標として、『人を思いやり、助け合い、感謝する子ども』『人の話をよく聞き、自分でよく考え、判断する子ども』『最後まで取り組み、自分を伸ばす子ども』『日本や外国の文化と伝統を大切にする子ども』の育成を目指しています。



日野川での昆虫調べの様子

